

ごあいさつ

2024 年 4 月より人間生活文化研究所長を拝命いたしました。人間生活文化研究所は、電子ジャーナルや電子ブックの発行、科研費申請支援「科研塾」など、さまざまな研究支援事業を行なっていますが、大学院生に対する研究助成も大切な 1 つの柱になっています。大学院生の研究費は、かつては指導教員に大学から支給されていましたが、大学院生本人が自由に使えないなどの訴えもあり、指導教員には研究指導手当として支給される一方、大学院生自身が研究に使える資金として、2011 年に研究所が助成金制度を立ち上げました。

この制度のすぐれたところは、大学院生自身が申請書を書き、審査を受けて、その申請書の出来によって申請額が決まること、決算報告、研究報告を行う必要があること、すなわち競争的資金に将来アプライする練習ができるところにあります。申請書には、学術的背景や独自性、創造性などを記載する必要があり、研究方法や年間の研究計画についても入学した最初から向き合うこととなります。大学院生は指導教員が育てると思われがちです。しかしながら、どんなしくみが整っているかも大切な要素ではないかと思います。実は、この大学院生研究助成制度は、企業様からの寄付金で支えられています。人間生活文化研究所の活動にご賛同くださっている企業様、そして研究所スタッフ／審査員の方々など多くの方の努力によってこの制度は支えられています。日本のこれからを担う若者のために、末長くこの制度を大切に維持していければと思っています。

大妻女子大学人間生活文化研究所
所長 田中 直子



アクセス



JR 総武線「市ヶ谷駅」下車 徒歩 10 分

都営新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線

「市ヶ谷駅」下車（A3 出口） 徒歩 7 分

東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」下車（5 番出口） 徒歩 5 分

東京メトロ東西線「九段下駅」下車（2 番出口） 徒歩 12 分

〒102-8357

東京都千代田区三番町 7-8 大妻女子大学図書館棟 6 階

TEL : 03-5275-6047

E-mail : info@o-ihcs.com

WEB サイト : <https://www.ihcs.otsuma.ac.jp>



大妻女子大学人間生活文化研究所

賛助会員募集のご案内

～若手研究員支援のお願い～

未来の研究者を応援しませんか



大妻女子大学人間生活文化研究所
—賛助金による若手研究者育成事業—

2011 年度に協賛企業（賛助会員企業）の支援を受けて、大学院生が主体となって研究を遂行する「協賛金による若手研究者育成事業「共同プロジェクト」がスタートしました。2014 年度からは、「大学院生研究助成」*1 を行うことがその主要な事業となり、大妻女子大学大学院の教育・研究の高度化、活発化を目指し、さらには次世代の後継者育成を目指しています。賛助会員の協賛金による助成をうけた毎年 50 人以上の大学院生は、自らの研究計画を立案し、これを全学の大学院生の前で報告し、研究活動を行い、再び全学的にそれを報告して、成果をオンラインジャーナル*2「人間生活文化研究」で発表します。こうした研究サイクルをまわすべく研究者を志す大学院生を支援しています。

人間生活文化研究所賛助会員 2008-2024

アサヒグループホールディングス株式会社	東京ケータリング株式会社
株式会社内田洋行	戸田建設株式会社
SMBC日興証券株式会社	株式会社中村屋
株式会社大林組	パナソニック株式会社
株式会社オカムラ	株式会社日立ビルシステム
株式会社オンワードホールディングス	富士ゼロックス株式会社
鹿島建設株式会社	前田建設株式会社
株式会社九電工	株式会社三井住友銀行
キューピー株式会社	株式会社三菱地所設計
清水建設株式会社	株式会社三越伊勢丹プロパティ・デザイン
ダイダン株式会社	山崎製パン株式会社
東京海上日動火災保険株式会社	
	(五十音順 敬称略)

* 1 大学院生研究助成一覧（2023 年度）

採択課題
産後の適切な体重コントロールを促すためのオンライン保健指導プログラムの開発
遊離脂肪酸の質が膵臓β細胞のインスリン分泌機能に与える影響およびその作用機序の解明
大豆食物繊維がヒトの腸内細菌叢に及ぼす影響（おからパウダー：ヒト試験）
勤労単身男性における食事管理方法の確立
小麦と大麦に含まれる低分子水溶性食物繊維の機能性について
事業所給食施設で提供される献立および作業工程に関する調査
高齢者の主観的健康感とADLおよび食生活状況の関連性の検討
地域高齢者のフレイル予防に関する研究―過去の健康状況が及ぼす低栄養リスクの関連―
妊娠・出産直後の食教育としての父親と母親支援のための母親学級の今後の課題と展開
もち麦が糖尿病モデルマウスの糖代謝関連臓器の機能に与える影響
炎症性腸疾患モデルマウスにおける食物繊維の摂取による予防・改善効果の検証
腸内環境変化が小腸上皮細胞の水吸収に与える影響
「裁ち目なしきもの」の課題と対処
2000年以降の「カワイイファッション」の語が表す意味と社会的評価
幼児・小学校低学年における科学概念構築の背景にある経験・体験に関する検討
里海を活用した小学生対象の海洋教育プログラムの開発と評価法の検討
子どものくつくる活動のプロセスの検討―素材と関わりながらアイデアを形にする―
在ドイツ長期居住日本人家族における子育てについての一考察
保育の遊び場面におけるリスクマネジメントとは―「リスク」概念の事例への適用―
パネルシアターをつくり演じる活動のプロセスの質的研究
学童保育における「気になる子ども」への対応
ポジティブ感情調節不全に対する心理的介入の効果検証
アレキシサイミア傾向と居場所の関連―心理的機能に着目して―
大学生における援助要請の傾向を測定する尺度の作成
さりげない声かけが恋人に与える影響
学級内で発達障害傾向のある児童がクラスメイトから受容される過程と促進要因の検討
ネガティブな被養育体験のある青年に対するCFTとCBTの効果比較研究
マインドフルネストレーニングの心理的・生理的効果の検証
精神科医師の喪失体験からなる死生観の変容プロセスについて

採択課題
不登校経験を持つ女子大生の父親および母親像の変化
青年期女性におけるコンパニオン・アニマル(犬)との関係性および心理的役割の変化
現代日本における青年期女子の「慰める存在」としての移行対象とその心理的機能
消防職員のワーク・エンゲイジメントを高める資源構造に関する研究
虐待の世代間連鎖を断ち切った母親の特徴と要因―妊娠前から出産後に焦点を当てて
カウンセラーの思考プロセスとしてのクリティカルシンキング
パワーハラスメントの克服過程の研究
心理臨床家訓練生のためのマインドフルネストレーニング―情緒の巻き込まれに着目して―
心理臨床場面におけるクライアントの自己隠蔽が緩和されるプロセスの検討
朝鮮半島から中南米へ移住したディアスポラ研究
呉昌碩早期における文人的思考の考察
多義語の意味拡張と意図性についての研究
『痴人の愛』を中心に、谷崎作品におけるファム・ファタール研究
『夜の寝宴』論―姉妹をめぐる情報と語り―
『落窪物語』の人物造型―道頼と姫君を中心に―
村岡花子における教養ネットワークに関する研究

脇狂言の祝言性と曲目成立の関係
和泉式部集における勅字歌群の研究
台湾の服務文化
現代中国の「国潮」(ナショナルトレンド)研究
桜の樹の下に埋まっている感情

* 2 オンラインジャーナル

電子出版事業

オンラインジャーナル「人間生活文化研究:International Journal of Human Culture Studies」



研究所が編集・発行する「人間生活文化研究」は、平成24年6月に創刊され、これまでに100編を超える投稿論文を掲載してきました。

本誌では「人間の生活と文化」に関する研究論文の投稿を随時募集しています。

多言語対応、投稿無料で、査読を経た論文は迅速に掲載されます。

また、J-STAGEに掲載されているため、論文は広く世界で読めます。

<http://journal.otsuma.ac.jp/>

◆2011 年～現在までの採択課題件数は 468 件

過去の採択課題はこちらからご覧になれます

